

釧路教育研究センター研究専門委員会の活動

今回の「釧路教育」では、令和3年度の生徒指導研究専門委員会、郷土読本研究専門委員会、特別支援教育研究専門委員会の各活動について紹介いたします。

生徒指導研究専門委員会

生徒指導研究専門委員会では、昨年度から2か年計画で「学級経営に生かす学級目標」について調査研究を行っています。学級経営を進める上で、「学級目標」はまさに学級の目指す方向性であり、児童生徒にゴールイメージを持たせる効果があると考えます。そこで、本研究専門委員会では、学級目標の必要性や児童生徒とともにつくる学級目標について、実践例を紹介したハンドブックの作成に取り組んでいます。「学級目標を掲示したがあまり意識されていない。」「振り返る時間がなかなか取れない。」といったことで悩んでいる先生方の参考になれば幸いです。

【ハンドブックの内容】

- ◆理論編～自己有用感を育む学級経営について、発達段階と学級の実態を踏まえた学級目標の在り方
- ◆実践編～学級目標を「立てる」「生かす」「振り返る」場面での実践例の紹介

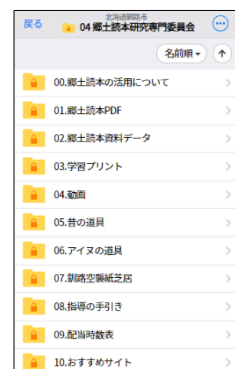
郷土読本研究専門委員会

今年度は、全ての単元(ただし、教科書を中心に扱う単元は除く)での『学習プリント』の作成を中心に、日本製紙釧路工場閉場による該当ページの全面改訂や、指導の手引きの改訂も進めてきました。また、一人一台端末を使つての学習にも対応できるよう、ロイロノートの資料箱に郷土読本に関わる『学習プリント』『指導の手引き』のデータを入れています。作業過程上、分割での提供になってしまい、学習進度によってはご迷惑をおかけしたかもしれませんが、随時更新しておりますのでぜひ活用してください。

わたしたちの取組が、先生方の日々の授業に少しでもお役に立てれば幸いです。

【アクセス方法】

ロイロノートの資料箱→北海道釧路市先生のみ→釧路教育研究センター→郷土読本研究専門委員会



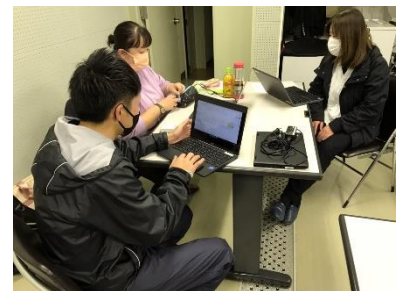
04 郷土読本研究専門委員会	
名前順	
00. 郷土読本の活用について	>
01. 郷土読本PDF	>
02. 郷土読本資料データ	>
03. 学習プリント	>
04. 動画	>
05. 昔の道具	>
06. アイヌの道具	>
07. 釧路空襲犠牲者	>
08. 指導の手引き	>
09. 配当時数表	>
10. おすすめサイト	>

特別支援教育研究専門委員会

特別支援教育研究専門委員会では、学びの過程において考えられる困難さを克服するための個の障がいに応じた一人一台端末の効果的な活用方法について、実践的な研究に取り組んでいます。具体的には、各校のICTに係る実践等について情報収集し、その情報を基に、児童・生徒が学びの過程でどのような困り感もち、それを克服するためにどのように端末が活用できるのかを交流しています。交流した実践については、7月に行われた特別支援教育地域ブロック会議で情報提供させていただきました。

現在は端末を使って家庭科の玉結び、玉止めの仕方や、音楽の鍵盤ハーモニカの指の使い方などの動画作成、ロイロノートやジャムボードなどの活用実践に取り組んでいます。

今後は、それらをまとめ、特別支援教育通信で発信していきます。



【研修講座報告(指導方法開発研究専門委員会)】

研修講座名	実施日	場所	受講者
一人一台端末活用の充実	9月15日(水)	釧路教育研究センター	21名

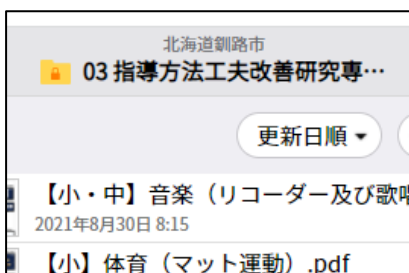
講座の内容

指導方法開発研究専門委員会では、今年度、GIGAスクール構想に係わって、ロイロノートを活用した授業づくりについて研究を進めてきました。

そこで、釧路市内の先生方にロイロノートの基本的な使い方や授業における効果的な活用方法について学べる機会として、ミニ研修講座を開催しました。

当日は、感染症予防に十分努め、端末を1人で2台使用しながら、教師側と子供側の画面の見え方や操作の仕方など、実際に体験することを通して、研修を深めていきました。

また、本研究専門委員が作成した実践例を紹介しました。実践例は、ロイロノートの資料箱→釧路市「先生のみ」→釧路教育研究センター→指導方法開発研究専門委員会に保存しています。随時データを更新していますので、ご覧ください。



資料箱のコチラです↑



【受講者からのアンケートより】

- ロイロノートの知らなかった活用方法や機能を知ることができました。校内でも研修を持って広めていきたいと思います。
- 今日のようなミニ研修講座はとても参加しやすいものでした。2台使ったの一人二役はとてもわかりやすいものでした。
- 丁寧に教えてくださりありがとうございました。色々な先生方のアイデアを教わり、実際にすぐに現場で生かせると感じられる講座でした。参加できて良かったです！

説明・体験の内容

冒頭に、釧路教育研究センター所員より、GIGAスクールのねらいや釧路市における現状について説明させていただきました。

次に、本研究専門委員より、ロイロノートの実践事例の説明があり、「思考ツールの活用」「アンケートの機能活用」「カメラ機能を活用したリコーダーの評価方法」「生徒間共有」「画面配信」等について、1人で2台の端末を活用しながら、子供側と教師側の両方の視点で体験しました。受講者からは、「教師と子供の画面は違うので、2台あることでわかりやすかった。」といった声も聞かれました。

今回は、少人数のミニ研修であったので、わからないことや疑問に思ったことも気軽に聞くことができ、和やかな雰囲気で行うことができました。今後も、GIGAスクールに係わる疑問等があれば、釧路市教育委員会、釧路教育研究センター指導方法開発研究専門委員会にご相談ください。



【研修講座報告(学習指導研究専門委員会)】

研修講座名		実施日	場所	受講者
「主体的・対話的で深い学び」 の視点からの授業改善	算数科	9月28日(火)	釧路教育研究 センター	33名
	国語科	10月14日(木)		37名

講座の内容

学習指導研究専門委員会では、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善について、2年計画で研究を進めています。昨年度は、「主体的に学ぶ」「対話的に学ぶ」「深く学ぶ」子供の姿を明確化するため、独立行政法人教職員支援機構(NITS)の提示している「実現したい子供の姿」をイメージ化したピクトグラムを参考にしながら、釧路市として目指したい子供の学びの姿や、その実現のために必要となる教師の手立てについて整理しました。そして、それを基に単元デザインシートを作成し、授業実践や検証を進めてまいりました。

本講座では、昭和小学校佐藤義人教諭による小学6年算数の授業と、愛国小学校竹内徹教諭による小学5年国語の授業の動画視聴を行いました。研究協議では、ピクトグラムを活用した、単元デザインシートを作成することの成果や課題について、受講者の方々より貴重なご意見をいただきました。今後の釧路市の授業改善につながる大変有意義な講座となりました。



【受講者からのアンケートより】

- 主体的・対話的な学びを行うための具体的な姿を、授業を通して知ることができました。
- 学校全体で取り組みやすい提案だったので、ピクトグラムを活用してみたいと思いました。とても参考になりました。
- 研究の概要、素敵な授業、それを基にしたグループ協議と、オンライン研修会としてとても参加しやすくわかりやすい内容でした。とても良い研修だと感じたのも研究自体の内容の良さ、授業の良さがあるからこそだと思います。準備等ありがとうございました。
- ピクトグラムを使うことで、単元のねらいが分かりやすくなると感じました。

授業・説明の内容

算数の授業では、単元「割合の表し方を考えよう」の1時間目を動画で見いただきました。本時では、「主体的に学ぶ」ピクトグラムとして『興味や関心を高める』を設定し、「比」は身近なものであることを実感させるために、導入で具体物を用いる学習活動を展開しました。

国語の授業では、単元「よりよい学校生活のために」の5時間目を中心に単元全体を通して授業動画を見いただきました。本時では、「対話的に学ぶ」ピクトグラムとして『協働して課題解決する』を設定し、座標軸図を活用して、共通の視点をもとに考えを発表・質問し合う場を設定し展開しました。

ピクトグラム例



協働して
課題解決する



興味や関心
を高める



今回の研究について、算数科、国語科共に授業者からは、単元を見通すきっかけとなり、また、単元でどんな力(資質・能力)をつけさせたいのかを確認できるといった成果が発表されました。この研究内容につきましては、今年度末に紀要としてまとめ、各校に配布される予定ですので、今後の各学校における授業づくりの一助となれば幸いです。

相談室だより

教育相談員 小関 としみ ・ 武山 昇



令和3年4月から10月29日現在の相談件数は延べ22件で、昨年よりやや少なめの件数となっています。その内訳は、来所面談3件・電話相談15件・メール相談4件となっており、対象区分の件数では小学生8件、中学生14件で、相談内容では「不登校」12件(54.5%)・「学校生活」5件(22.7%)・「家庭教育」2件(9.1%)・「学習・進路」1件(4.5%)・「学校不信」1件(4.5%)・「部活動」1件(4.5%)となっています。今年度の特徴として、小学校の相談割合が多かった数年前と比較して、中学校の相談件数が半数以上まで増加している点が挙げられます。また、相談内容については、小学校では相談件数8件中5件が「学校生活」に関する相談でした。中学校では相談件数14件中10件が「不登校」に関する相談でした。これらに対して「いじめ」等の相談は減少傾向が続いており各学校で適切・丁寧な対応をいただいていることが伺え、各校の取組や指導体制の構築等、ご努力の賜物と受け止めています。

問題には様々な要因が絡み合っているものですが、相談の際にはできるだけ相談者の心情に寄り添いながら状況の改善に向けて親身な対応を心がけるとともに、保護者・子供と学校・関係機関とを繋ぐ役割を果たすよう努めています。双方の理解と強い連携の下で、困り感を抱えた子供たちのために迅速な対応の協力を得て成果を挙げることができていると感じています。

相談を通して少しでも不安や悩み等の解消につながることを期待して、これからも学校と保護者との仲立ちになれるよう業務に努めてまいります。

道東地区研究所員研修会

昨年度は、新型コロナウイルスの感染予防のため開催が見送られましたが、今年度は8月19日に、ZOOMによるオンラインで開催されました。釧路教育研究センターからは、指導方法開発研究専門委員会「小学校プログラミング教育の考え方」と、郷土読本研究専門委員会「郷土読本を効果的に活用した授業づくり」の2本の研究について発表いたしました。



他の管内からの発表では、地域の現状と課題及びこれまでの活動の成果等が発表され、とても参考になる内容が多くありました。今後の研究に生かしていける大変意義のある研修会となりました。

釧路教育研究センター教育講演会について

釧路教育研究センターでは、毎年「教育講演会」を実施しております。

今年度は、「ふるさとキャリア教育」を通して、子供たちのキャリア意識の向上に取り組んでおられる、秋田県大館市教育委員会教育長「高橋善之」氏にご講演いただきます。

たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

- 日 時 令和4年2月5日(土)
13:30開演(13:00受付開始)
- 会 場 コーチャンフォー釧路文化ホール 小ホール
- 演 題 『教育のイーハトーヴを求めて
～ふるさとキャリア教育が奏でる“学びの交響学”～』
- 講 師 高 橋 善 之 氏(秋田県大館市教育委員会教育長)
- 問い合わせ先 釧路市教育委員会教育支援課学校指導担当
0154-23-5189



■「釧路教育」第309号 contents■

- 1 釧路教育研究センター研究専門委員会(生徒指導・郷土読本・特別支援教育)活動紹介
- 2 釧路教育研究センター「研修講座」(指導方法開発・学習指導)報告
- 3 相談室だより
- 4 道東地区研究所員研修会報告
- 5 釧路教育研究センター「教育講演会」のお知らせ